

大分教育事務所訪問②-5 (計78)

由布市立由布川小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「かしこさ、やさしさ、たくましさの花咲く由布川っ子の育成」を達成するために、めざす児童の姿を、

- ① 積極的に学び、学んだことを次に活かしていく子
- ② 「話す・聞く・考える」ことを大切にして、協働して課題解決に取り組む子
- ③ 「目標を持って取り組み、取り組みの振り返りを次に活かそうとする子」と、「3つの資質・能力」で定め、それぞれのチームを中心に実践をされています。

注目すべきは、取組を焦点化するために、4月当初に編成した部会を6月に再度編成し直したことです。このことで、目標達成マネジメントと組織マネジメントが連動するようになり、日々の授業改善だけでなく、運動会では一人の子どもを大切にする種目の導入や、ICTを活用した新たな授業評価等、本校が育成を目指す(教科横断的な)資質・能力である「判断力」を意識した実践が行われるようになりました。



NO.355 2021年10月 由布市立由布川小学校

かしこさ

自分と異なるやり方を聞くことで、共通点や違いがみえてくる。考えることが楽しくなる。



NO.354 2021年10月 由布市立由布川小学校

やさしさ

喜びを思い切り表現でき、頑張った友達への拍手があふれる教室では、みんなが笑顔になっている。



NO.356 2021年10月 由布市立由布川小学校

たくましさ

昼休みが終わるので全力で教室に戻る。そんな私達だから、いろいろな面で切り替えることができる。



NO.357 2021年10月 由布市立由布川小学校

花が咲く

当たり前のことを続けていると、気がつくとも成長している。そして、大きな花が咲くでしょう。



NO.358 2021年10月 由布市立由布川小学校

理由を聴く

結論は同じでも、理由はみんな違う。そこには、その人の優しさや体験したことが現れる。

授業から学ぶ

参観した全ての授業において「判断力」の育成を意識しているのも、自己決定の場が保障されており、4年や1年の算数では子ども達は多様な考えを表していました。また、5年外国語は教室全体が笑顔と拍手、スピード感にあふれながら、本時のねらいを達成している見事な流れだと思いました。6年道徳は、課題が2つあることでテンポがよくなり、また、立場を決める課題では、自分と異なる考えをした人の理由

や、同じ考えでもその理由は異なることを知ることで自身の考えも深まり、自分自身の問題と捉えていたようです。

今後は、本校が力をいれている「振り返り」においては、子どもがどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」として記入してみたいかがでしょうか。実際に「わ・が・とも」の視点で書いてみることで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になります。そのような視点で、互見授業を行うと、協議で確認された「本当に意味での授業交流」につながると感じました。